

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会
開 催 日 時	令和元年11月28日（木） 午後5時30分～午後7時40分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：木村委員（座長）、榎本委員、押本委員、榎戸委員、大谷委員（副座長）、武内委員、江郷委員、草間委員、宮崎委員、田中委員、小林委員 欠席者：なし 事務局：健康福祉部地域福祉課長、同課市民なやみごと相談係係長、同係主任、委託業者2人
議 題 等	■ 連絡事項（事務局の人事異動・懇談会開催時期の延期理由） 1 報告 第2回武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会の会議結果について 2 議題 (1) 武蔵村山市子どもの未来応援プランの策定期日について (2) 武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について (3) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：武蔵村山市子どもの未来応援プランの策定期日について 策定スケジュール（変更案）で確定 議題2：武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について 第3章から第4章の内容については、委員からの意見を踏まえ、次回の会議までに事務局にて修正を行うこと。 議題3：その他 今後の日程について、第4回は1月23日（木）、第5回は2月27日（木）を予定。第6回（3月予定）の日程は1月に決定すること。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 (事務局) 「武蔵村山市子どもの未来応援プラン策定懇談会に関する運営要領」に基づき、会議録の要旨を取りまとめたものである。 この会議録については、本日の会議資料配布の際、発言の真意が表現されていない箇所、不適当な表現等があったら事務局まで連絡をもらうことになっていたが、本日まで意見はなかった。会議録については確定すれば、今後会議資料と合わせて市のホームページで公開することとなる。 (座 長) 会議録について、質問、意見はあるか。なければこの内容で確定ということでよいか。 (委 員) 異議なし。 議題1：武蔵村山市子どもの未来応援プランの策定期日について (事務局) 国が取りまとめる「子供の貧困対策に関する大綱」を踏まえて策定を進めるため、令和2年6月末の完成（6月議会に諮り確定）とする。懇談会については令和2年3月末までとする。 (座 長) 策定スケジュール（変更案）について意見はあるか。 (各委員) 異議なし。 議題2：武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）について (事務局) 資料3「武蔵村山市子どもの未来応援プラン（素案）」について

	<p>説明。</p> <p>－質疑・意見等－</p> <p>(委員) 41ページの関連データ部分、武蔵村山市が0%なのはなぜか。</p> <p>(事務局) 昨年度行った「ひとり親家庭ニーズ調査」の結果から86.6%と入る予定。本日の資料として記載が間に合わなかったため0%となっている。</p> <p>(座長) 関連データの掲載の仕方がまちまちに見える。形式も含めて18ページから順に見ていきたい。</p> <p>(委員) 23ページの「武蔵村山市子どもの貧困対策推進連絡会」とはどのようなものなのか。</p> <p>(事務局) 子どもや子どもを育成する家庭と接する機会のある課により組織している。地域福祉課長が座長となり、平成27年から平成29年に実施してきた。各課からの報告で、子どもが絡む問題が起きた際に改善策や対応について審議を行ってきた。この連絡会を通して、子どもの貧困についてプランを立てて全力で取り組む必要があるという結論に至り、本委員会開催につながっている。なお、現在はプラン策定中のため連絡会の開催はしていないが、今後随時開催になると考えられる。</p> <p>(委員) 虐待や貧困に係る現場の声や現場で感じることをこの連絡会で議論してもらえるのか。また、それが施策につながっていくか。</p> <p>(事務局) まず、市としては「市民なやみごと相談係」を窓口として設定している。内容によって担当する課に割りふっており、必要に応じて連絡会の開催という形をとっている。</p> <p>(座長) 基本目標の内容や文言についてはどうか。その他アイデア等あれば。</p> <p>(座長) 23ページのイメージ図はこの場所でいいだろうか。基本目標より先に持ってきた方がいいのではないか。</p> <p>(事務局) 検討を重ねて現在の位置としているが、先に持ってきてもいいように思う。検討したい。</p> <p>(委員) 23ページの推進連絡会について、その役割はどのようなものなのか。施策を検討する場なのか、実務的な内容の検討をする場なのか。</p> <p>(事務局) 推進連絡会の役割としては3つがあると思う。1つめは、個別事案について情報共有と連携を図る場である。2つめは、部局間の情報交換の場。3つめは、施策へつなげていくための全庁的な考えや方針を集約していく場だと考えている。</p> <p>(委員) 現在起きている貧困に加えて、連鎖による将来的な貧困について、それを断ち切るといったような内容を基本目標に盛り込んではどうか。</p> <p>(事務局) 32ページの「第3節 生活を応援」に「貧困の世代間連鎖を断ち切る」という文章を記載している。</p> <p>(座長) 「生活を応援」という表現から、将来的な、というニュアンスを含めた表現へもう少し変えてもいいかもしれない。</p> <p>(委員) 貧困の世代間連鎖を断ち切るという意味では、教育による部分が大きいと考えるため、生活とも少し違っている。</p> <p>(事務局) 18ページの基本理念、基本目標に盛り込むことも含めて再度検討。</p> <p>(座長) 24ページから各施策分野についてはどうか。</p> <p>(座長) 24ページの施策分野1-2困難や悩みの早期発見とあるが、25ページでは1-2課題や悩みの早期把握とある。統一をお願いしたいが、発見と把握どちらが適切か。</p> <p>(事務局) 事務局でふさわしい表現を検討し統一する。</p> <p>(座長) 26ページ「相談事業」とあるが、「居場所」や「つながり」とい</p>
--	---

	<p>うイメージを加えてほしい。</p> <p>(事務局) 事務局で検討。</p> <p>(座 長) 27ページから31ページまで、第2節の内容はどうか。</p> <p>(委 員) 就学児に対する支援は多いが、未就学児に対する支援はどのような状況か。貧困の中でも「経験不足」というのが未就学児については大きな問題であると考えている。</p> <p>(事務局) 例えば、29ページに保護者負担軽減補助金等の支援を行っているが、実質的に未就学児の経験不足に対する支援につながっているかと考えると難しい部分があると感じる。</p> <p>(座 長) 未就学児の体験学習という視点が施策として必要。児童館の取り組み等、地域や団体の取り組みがあったりする。</p> <p>(事務局) 東京都と武蔵村山市の施策について、現在あるものを含めて確認したい。</p> <p>(委 員) 中学を卒業した15歳から18歳の子どもへの支援はどうか。子どもでもあり、親にもなる年齢であるため。</p> <p>(事務局) 現在の取り組みとして、23ページに記載のある子ども家庭支援センターでの支援、最近では子ども食堂の取り組みがある。子どもだけでなく大人も含めて年齢に関係なく利用ができるようになってきている。また、居場所づくりとして、中学生や高校生が立ち寄ることができる場となるように、児童館の開館時間延長も検討している。</p> <p>(委 員) 貧困の予防にもつながってくるが、学校を中退してしまう子どもに対する支援が重要。一度学校を離れてしまうと、働く場も限られ、子どもでもあり親でもある立場の子達は次の貧困を生み出してしまう状況になる。貧困とは切り離せない。行政だからこそできる支援をお願いしたい。</p> <p>(座 長) 東京都の取り組みとして、30ページに児童養護施設の進学支援があるようだが、どのような内容だろうか。</p> <p>(事務局) 児童養護施設の子どもの大学進学率を上げようという取り組みが30ページの支援の内容であると認識している。地域に開かれた取り組みという意味では少し異なる。</p> <p>(座 長) 児童養護施設による学習支援が、地域に開かれた場であると良いと感じる。31ページの地域未来塾という取り組みもあり、ここに学校を中退した子どもも対象になっていくと良い。</p> <p>(委 員) 加えて、外国籍の児童も対象になると良いと感じる。小学校低学年までに学習に追いつけるかがポイントになる。そのためには、就学前にキャッチアップが重要になる。中学校以降も含む学校生活への定着につながる。</p> <p>(座 長) 学校を中退する子どもや外国籍の子どもも含めて、居場所づくりと学習機会の確保が大切である。このような視点も含めて再度検討していただくということをお願いします。</p> <p>(座 長) 32ページ以降の内容についてどうか。関連データが出てくるが、「子どもの貧困指標」として数値の記載がある。一見すると目標値のように感じられるため、目標値と実績値の記載の仕方について工夫が必要ではないか。</p> <p>(事務局) 記載の仕方について検討したい。</p> <p>(委 員) 東京都の事業を白丸、武蔵村山市の事業を黒丸として記載している部分について。市の事業には相談窓口(担当課名)を書いており、東京都の事業については窓口を明記していないがどのような考えがあるか。</p> <p>(事務局) 東京都の事業について、窓口を記載することは十分可能な部分であるが、まずは身近な存在として第一に市の窓口に来ていただくことを想定している。そこから市の担当課につなげたり、必要に応じて都等の関係機関に相談したり、という流れになっていく。今回の御意見を</p>
--	--

受けて再度検討したい。

(委員) 読み手にとって分かりやすい記載という観点から検討していただきたい。

(事務局) 75ページに東京都の施策を整理した一覧、50ページと51ページに東京都と武蔵村山市の施策をまとめて整理した一覧がある。東京都と市の施策で再度確認が必要な部分もあり、担当窓口の記載という御意見も併せて検討をしたい。

(委員) 35ページの子どもの居場所づくりについて。例えば図書館の活用状況はどうか。親子連れに向けた読み聞かせの取り組み等、居場所になると思う。

(事務局) 実施しているので、御意見として承り確認を行いたい。

(座長) 事業が多くあるが他にはどうか。

(委員) 34ページの保育コンシェルジュ事業について、「コンシェルジュ」とはどのような意味なのか。

(座長) 相談者の要望や相談を受けて、適当なサービスを案内する役割。ここでは適切な保育サービスの選択と利用のために、相談対応や情報提供を行うことを指している。

(座長) 続けて、41ページから43ページはどうか。

(委員) 一質疑等なし

(座長) 44ページから46ページはどうか。

(委員) 一質疑等なし

(座長) 47ページから49ページはどうか。

(委員) 47ページの関連データについて、活動団体数・拠点数を記載しているが、ここから何を読み取れば良いかがわからない。数値を出すときは何らかの目的がある使い方をすべきだと考える。例えば、市と他市との比較等、多いのか少ないのかわかるように記載する方が良い。

(座長) 数値によって比較できるような形にしたり、数値からわかる分析の内容を記載したりする形で再度検討していただきたい。

(座長) 子どもに関わる団体を加えるともっと数としてはあるように思う。例えば別途団体数を記載しても良いと思う。

(事務局) 任意団体は含まれていない。市民活動の団体も含めるべきということでしょうか。

(座長) 社会全体、みんなで、というメッセージを伝えていく意味においては含めても良いように思う。

(委員) 具体的な団体名は記載してはいけないのか。また、ここに学校も含まれるのか。

(座長) 第6節では社会全体という立場で市民に向けた内容になっている。

(事務局) 団体名の記載については、昨年度実施した生活実態調査の報告書の中に記載をしている。

(座長) 時間となりました。

(事務局) その他御意見があれば、電話やメールで事務局まで御連絡ください。

議題3：その他

(座長) 今後の予定について。

(事務局) 本日の懇談会の御意見を受けて、12月に庁内策定委員会を行いたい。第4回懇談会については1月、パブリックコメント前に調整させていただきたい。

(座長) 次回懇談会は、第4回は1月23日(木)17:30から、第5回は2月27日(木)を予定。第6回(3月予定)の日程は1月に決定する。

以上

会議の公開・ 非公開の別	■公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()
-----------------	--

傍聴者： 3人

会議録の開示・ 非開示の別	■開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
------------------	--

庶務担当課	健康福祉部 地域福祉課（内線：155）
-------	---------------------

（日本工業規格A列4番）